

2019 春日井市民

第九演奏会

Symphony No. 9 in D minor op.125 "Choral"

12月8日(日) 春日井市民会館

15時開演(14時開場)

入場料 A席 1,500円 B席 1,000円 (全指定席・税込 未就学児入場不可)

プレトーク(14時45分より)

音楽監督・指揮 井村 誠貴



指揮
井村 誠貴



ソプラノ
國光 ともこ



アルト
河村 典子



テノール
松本 薫平



バリトン
池田 真己

音楽監督/井村 誠貴

曲目/マスカーニ作曲 歌劇『カヴァレリア・ルスティカーナ』より
「序曲」「間奏曲」「復活祭の合唱」

ベートーヴェン作曲 交響曲第9番 二短調 作品125「合唱付」

管弦楽/春日井市交響楽団 合唱/春日井市民第九合唱団 合唱指導/松下 伸也

賛助出演/春日井児童合唱団

主催/春日井市・春日井市教育委員会・公益財団法人かすがい市民文化財団・春日井市民第九演奏会実行委員会
共催/春日井市交響楽団・春日井市民第九合唱団 後援/中部大学・中日新聞社

お問い合わせ: 春日井市民第九演奏会実行委員会 (中部大学内) TEL0568-51-5250 春日井市文化スポーツ部文化・生涯学習課 TEL0568-85-6079



未来に届く力

1824年に作曲されたベートーヴェンの第九交響曲。古典派時代を生きたベートーヴェンにとって、9つ全ての交響曲が未来を切り開く革新的な作品であった。そして最後に作曲された第九交響曲は、いよいよロマン派という時代へと導いて行く、音楽史上重要な作品となった。200年近くも前に創造されたこの作品は、多くの人々、国によって受け継がれ、未来の私達に届けられた。ここ数年「春日井を一つに」という思いから、若い力との共演を推し進めて来た。昨年は、中部大学春日丘高等学校吹奏楽部と成瀬ひろみバレエスタジオが、素敵な演奏とバレエを披露してくれた。そして今年は春日井児童合唱団だ。天使の歌声は、会場一杯に響き渡り、そしてまた未来へ届けられると確信している。

音楽監督・指揮者 井村 誠貴

PROFILE

指揮 井村 誠貴 Masaki Imura

1994年大阪音楽大学コントラバス科を卒業。在学中よりオペラ指揮者として研鑽を積み、これまでにオペラパートリーも50演目を超える。2013年には、年間オペラ公演回数が日本人第1位に入るなど、その地位を確立している。管弦楽では、京都フィルハーモニー室内合奏団を中心に芸術鑑賞会を全国展開。名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、京都市交響楽団、大阪交響楽団等を客演。また、岐阜県交響楽団等との定期演奏会を客演指揮するなど、アマチュアオーケストラの分野においても貴重な存在となっている。さらに、大阪市音楽団、ナゴヤ・ディレクターズ・バンド等の吹奏楽団との関係も深く、その分野でも注目を集めている。近年はミュージカルにも活動の場を広げ、1999年の「ラ・カージュ・オ・フォル」を皮切りに、「マイ・フェア・レディ」「レ・ミゼラブル」(いずれも東宝)「ペテン師と詐欺師」[The Musical AIDA]「キャバレー」のロングラン公演全国ツアーを成功させ、ライブCD、DVDを発売。また、岩崎宏美、夏川りみ、ダ・カーポら実力派シンガーとの共演も多く、コンサートでは軽妙なトークも話題となっている。2010年には京都フィル、湖笛の会(フルート・オーケストラ)と共に韓国光州国際音楽祭に招待され、世界的フルート奏者フィリップ・ピエルロ氏らと共演。クラシックにとらわれない幅広いジャンル、年間200公演近くに及び実績と、繊細かつダイナミックな指揮は、多くのファンを魅了し続けている。現在、オーケストラMF指揮者、関西音楽人のちから「集」代表。2012年より春日井市民第九演奏会音楽監督。

管弦楽 春日井市交響楽団

春日井市交響楽団は、ベートーヴェンの「第九交響曲」の演奏会を春日井市で開きたいという市民の思いから生まれた「市民が演奏し、市民が聴く」オーケストラです。1990年に創設され、団員は、会社員・公務員・教員・主婦・学生・自営業者など様々な職種からなる約70名で、毎年7月の定期演奏会と12月の第九演奏会を中心に、オーケストラ活動を行っています。本年7月の定期演奏会では、初めてオペラに取り組みましたが、様々な方のご協力をいただき無事に終えることができました。そして、第九に先立って演奏する「カヴァレリア・ルスティカーナ」では、定期演奏会にもご出演いただいた春日井児童合唱団の皆さんと再び共演させていただきます。子ども達が一生懸命音楽に取り組む姿を間近で感じることは、私たち団員にとっても良い刺激となります。今後とも、様々な場面で良い演奏をお届けできるよう努めてまいりますので、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

(団長 後藤 哲也)

合唱 春日井市民第九合唱団

私たち春日井市民第九合唱団は、春日井市制50周年の1993年からベートーヴェンの「第九」を歌っています。約200年前に作られたこの曲は、日本各地で毎年たくさん演奏され、多くの人に愛されています。こんなに頻りに第九が演奏される国は日本以外にはないといわれていますが、日本人の感性に合うのかも知れませんが、ドイツ語で歌いますので、日本だけでなく世界のどこへ行っても歌うことができますし、外国人と一緒に歌うこともできます。音楽は世界共通の言語です。私たちの合唱団では、毎年新入団員を20〜30人迎えています。今日は客席に座る方、来年は私たちと共に舞台上に立ちませんか。聞くのも楽しいですが、歌えばもっと楽しいですよ。最初は難しい曲かもしれませんが、少し歌えるようになれば一生の財産になります。

(団長 宇津山 薫)

ソプラノ 國光ともこ Tomoko Kunimitsu

武蔵野音楽大学卒業。愛知県立芸術大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁芸術家在外派遣研修員として渡伊、ボローニャにて研鑽を積み、日本モーツァルト音楽コンクール第1位、ならびに大賞、東京音楽コンクール第2位、岐阜県県民栄誉賞、岐阜県芸術文化奨励等、受賞。オペラに於いては、新国立劇場「フィガロの結婚」「ばらの騎士」「タンホイザー」等で出演を重ねるほか、「椿姫」タイトルロール、「リゴレット」ジリダ、近年ではミシェル・プラッソン指揮「エロディアー」サロメを演じる。コンサートに於いては、「第九」はじめバッハ「マタイ受難曲」、メンデルスゾーン「エリヤ」、ヴェルディ「クワイエム」、マーラー「千人の交響曲」等、交響曲や宗教曲のソリストとして在京主要オーケストラと共演。また、NHK-FM「名曲リサイタル」、国体開会式の国歌独唱ほか、多彩な分野で活躍を続ける。二期会会員。

アルト 河村 典子 Noriko Kawamura

愛知県春日井市出身、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。東京二期会オペラ研修所第53期修了。指揮者の準メルフル氏より推薦を受けて2015年渡独。2016年ワーグナーの殿堂バイロイト音楽祭のスカラシップをきっかけに、ヨーロッパ本格デビューを果たす。現在、宮廷歌手ジークフリート・エルザレム、指揮者マティアス・フスマン、音声学研究者エディット・ジークフリートに師事。2017年イタリアのボルツァーノARTより客演歌手として「蝶々夫人」ズスキ、「トリスタンとイゾルデ」ブランゲネを好演。ドイツのFalkensteinより芸術助成を受けて、リーダー・ベントを好演。2018年南ドイツHerbstmusiktage Bad Urach音楽祭に出演。2019年ルーマニアCon Arts主催、シビウのASTRAホールにて客演。ヨーロッパの各プロでは「圧倒的な情緒と説得力で魅惑的なメソソプラノ」「もはや忘れることの出来ないメソソプラノ河村典子」「人間の用いる様々な感情を時には皮肉に驚くべき熟達していた」オペラでは「カルメン」タイトルロール、ヨハン・シュトラウス「こもり声」オルロススキー、ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」ブランゲネ、「ラインの黄金」エルダ、「神々の黄昏」2019年第15回ルーマニア国際音楽コンクール声楽部門の審査員を務める。ファーストアルバム「それはきっと素晴らしいこと」Amazonにて好評発売中。日本ルーマニア音楽協会会員・日本演奏連盟会員、スイス式発声法 Supraleitung Methode JAPAN代表。

テノール 松本 薫平 Kumpei Matsumoto

京都市立堀川高等学校音楽科を経て、東京藝術大学卒業。卒業後渡伊し、フィレンツァ・コッソット、イーヴォ・ヴィンコ両氏のもとで研鑽を積み、1999年関西二期会35周年記念オペラ「ラ・ボエーム」のロドルフォでデビューし、同年「蝶々夫人」のピンカートンと立て続けに出演し、共に絶賛を博した。その他に数々のオペラに主演し、好評を得ている。また、ベートーヴェン「交響曲第9番」をはじめソリストとしても活躍。第27回イタリア声楽コンクールソノール特賞、第17回飯塚新人音楽コンクール第3位、第8回ABC新人コンサート・オーディション最優秀賞、第2回松方ホール音楽賞選考委員奨励賞、第13回土塚ベガ音楽コンクール第3位、第74回日本音楽コンクール入選など多数入選入賞。兵庫県芸術奨励賞、神戸市文化奨励賞、咲くやこの花賞、神戸キワニス文化賞ほか受賞。現在、神戸女学院大学教授。京都市立芸術大学、神戸山手女子高等学校各講師。関西二期会会員。藤原歌劇団団員。

バリトン 池田 真己 Masaki Ikeda

1990年生まれ。大阪と京都の境目、島本町在住のバリトン歌手。大阪府立春日丘高校を経て京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。第37回飯塚新人音楽コンクール第2位。2017年ベートーヴェン第九交響曲日本初演の聖地、鳴門市で第九バリトンソロデビュー。2018年12月岐阜県大垣市制100周年記念第九にて、バリトンソロの代役を急遽務め指揮者井村誠貴氏と共演。公演は成功を収め好評を博した。オペラでは今年3月オペラ座神戸「ラ・ボエーム」(栗辻聡指揮、井原広樹演出)マルチエロ役で出演し本格的なオペラデビュー。6月には日生劇場「ハンゼルとグレーテル」(角田鋼亮指揮、広崎うらん演出)父役を演じ東京におけるオペラデビューを飾った。また9月に「地元島本町を歌声あふれる町に」を目標に掲げ「島本ジュニアコーラスくすのキッズ」を立ち上げた。サントリー1万人の第九指導者。現在、神戸市混声合唱団団員。

2019年 12月8日(日) 15時開演(14時00分開場)

春日井市民会館 A席/1,500円 B席/1,000円 (税込・全指定席・未就学児入場不可)

●販売日 10月2日(水) 9:00~

【窓口販売】

文化フォーラム春日井2F・文化情報プラザ(9:30~17:15)
※10月2日(水)のみ9:00~、月曜休館、祝日の場合は翌平日。
春日井市東部市民センター窓口(9:00~12:00、13:00~17:00)

【Web予約】

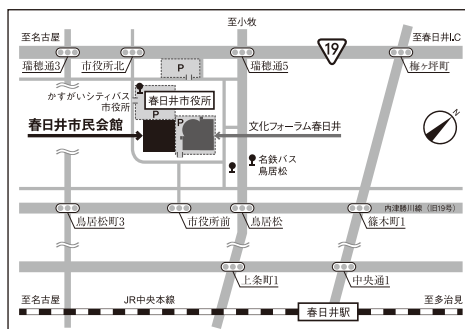
かすがい市民文化財団ホームページ ※24時間予約受付・セブンイレブンの受取り可

www.kasugai-bunka.jp

- ・Web会員登録が必要(無料)
- ・予約有効期間は、予約日を含む15日間です。それ以降は自動的に予約取消となりますので、ご注意ください。
- ・公演日の15日前から前日までに支払完了していないものは、予約キャンセルとみなします。
- ・第九演奏会チケットについては、代引きサービスは利用できません。
- ・車椅子席は、文化フォーラム春日井2F・文化情報プラザでのみ取り扱います。

※チケット販売初日のWeb予約・購入は9:00からとなります。 ※電話予約及びチケットの取り置きは行いません。 ※1予約につき10枚まで。

※前売り完売の場合は、当日券の販売はありません。 ※開演後は、客席への入場を制限する場合があります。



会場：春日井市民会館

〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町 5-44

交通のご案内

駐車場は混雑が予想されます。なるべく公共交通機関や乗合せをご利用ください。

- JR中央線「春日井駅」北口より北へ徒歩約20分または名鉄バス「鳥居松」下車、西へ徒歩2分
- かすがいシティバスで2分越えの方「市役所」下車、南へ徒歩2分



※都合により出演者が変更になる場合があります。予めご了承ください。